

## モンゴル

## 主要データ

国名〔英名〕	モンゴル [Mongolia]
面積 (km <sup>2</sup> )	1,564,116
海岸線延長 (km)	0
人口 (百万人)	3.1
人口密度 (人/km <sup>2</sup> )	2.0
GDP (十億 US\$)	10.87
一人当り GDP (US\$)	3,542.74
主要鉱産物：鉱石	銅、モリブデン、金、蛍石
主要鉱産物：地金	銅
鉱業管轄官庁	鉱物資源庁、原子力庁
鉱業関連政府機関	鉱物資源エネルギー省、国家専門検査庁
鉱業法	鉱物資源法、原子力エネルギー法、一般鉱物資源法
ロイヤルティ	国内販売 燃料炭及び一般鉱物については販売価額の2.5%、その他の鉱物は5%。 海外輸出 輸出額の5%+国際市場価格及び製品加工度に応じた率
外資法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・投資法 (2013年10月3日)</li> <li>・投資基金法 (2013年10月3日)</li> </ul>
環境規制法 (環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境保護法(環境影響調査制度、環境基準有り)</li> <li>・水資源保護地域・森林地帯における鉱物資源の探査・利用の禁止に関する法律</li> </ul>
鉱業公社	Erdenes MGL、Erdenes Oyu Tolgoi、Erdenes Tavan Tolgoi、Erdenet(モンゴル政府51%、Mongol Copper社49%)、MongolRosstsevtment(モンゴル政府51%、Mongol Copper社49%)、Mon-atom(放射性鉱物資源を管轄)
鉱業活動中の民間企業	Ivanhoe、Rio Tinto、Areva
近年の鉱業関連問題 (資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鉄道・電力等のインフラ未整備</li> <li>・ Oyu Tolgoi 銅鉱山開発を巡る問題</li> <li>・ Tavan Tolgoi 炭鉱開発を巡る問題</li> <li>・ 砂金採掘や石炭輸送道路建設に伴う自然破壊</li> <li>・ ウラン調査による環境問題 (家畜の死滅)</li> </ul>
2017年のトピックス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2017年1月、Erdenet-Ovoot 炭鉱間敷設予定の鉄道ルートを閣議決定。</li> <li>・ 2017年3月、Dornogobi 県 Ulaan Ovoo 駅から天津までの鉄道によるモンゴル産石炭輸出開始。</li> <li>・ 2017年3月、M. Enkhbold 国会議長が日本訪来、安倍晋三内閣総理大臣ら会談。双方は鉱物資源の輸入、石炭化学コンプレックスのFS等について会談。</li> <li>・ 2017年4月、チリ・Codelco 公社と Erdenet Mining Corporation 間で協力事業における MOU 調印。</li> <li>・ 2017年7月10日、Kh. Battulga 新大統領就任。</li> </ul>

## 1. 鉱業一般概況

モンゴルは鉱物資源に富む国であり、主要鉱物には石炭、銅、ウラン、蛍石などがある。また、モリブデン（生産量：世界第10位（0.7%）、埋蔵量：世界第7位（1.5%））、タングステン等のレアメタルのポテンシャルもある。鉱業はモンゴルの基幹産業の1つであり、GDPの3割、工業生産の7割、輸出の8割を占める。

### ● Gashuushukhait 国境検問所におけるトラック渋滞

モンゴルと中国の国境に位置する Gashuunsukhait 国境検問所は、1992年に建設され、Oyu Tolgoi 銅鉱山や Tavan Tolgoi 炭鉱などから産出されるモンゴル産鉱物資源の物流の要となっているが、整備面の遅れが輸出の障壁となっている。2017年7月以降、大統領選挙などの影響により中国側の Gantsmod ポートで監察が強化され、石炭積載大型トラックの通過台数800台/日が500台/日以下まで減少した。通過速度の遅れにより、検問所周圍には90～140kmの渋滞ができた。

モンゴルの鉱物・石炭輸出許可を取得している企業は104社あり、各社の7,090台のトラックが Tavan Tolgoi 炭鉱から Gashuunsukhait 検問所まで連なるように走っている。トラック一台の長さは25m、貨物を含めた重さは90t/台。3,000台が4～5日間かけて石炭を積載し、約4,000台が Tavan Tolgoi 炭鉱から Gashuunsukhait 検問所までの260kmの道のりを運搬した。結果、トラック運転手は10～12日間を道路上で過ごすこととなり、モンゴル側は中国関係機関と交渉し、石炭の引き入れを速めるよう要請した。その結果、2017年10月20日には860台/日のトラックが通過するようになり、トラックの渋滞問題は解決に至った。ただし、中国側がロジステック面を改善しない限りは同様の問題は今後も発生する可能性がある。

## 2. 鉱業政策の主な動き

2016年6月に国会総選挙が実施された影響で、鉱業分野における大きな変更、政策改定等はなかった。また鉱物資源の価格低迷により、新規探鉱を開始する企業も少なかった。

- |           |   |
|-----------|---|
| 2017年1月   | J. Erdenebat 政権が請願書方式による探鉱権の付与を再開。  |
| 2017年4月   | モンゴル政府は100万t/年の銅精鉱を処理できる銅製錬所を Oyu Tolgoi 銅鉱山近隣に建設することを決定。   |
| 2017年10月: | D. Sumyabazar 鉱業・重工業大臣は、請願方式による探鉱権の付与は探鉱権販売になっているとの主張から探鉱権付与を一時中止した。 <u>(2018年3月に入札式のみによる探鉱権の付与を再開)</u>           |
| 2017年11月  | D. Sumyabazar 鉱業・重工業大臣は、Tavan Tolgoi 炭田の総合開発案を閣議提案。Mongolian Mining Corporation、Shenhua、住友商事のコンソーシアムとの交渉は公式に終了した。 |

## 3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

## (1) 主要金属鉱石生産量

表 3-1. 金属鉱石生産量 (純分)

鉱種	2015年 (千t)	2016年 (千t)	2017年 (千t)	対前年増減 比(%)	世界シェア(%)	ランク
鉄鉱石	6,173.4	4,936.2	6,173.4	25.1	0.2	18
銅	326.7	352.5	319.8	-9.3	1.6	15
錫	0.04	0.04	0.05	38.9	0.01	17
モリブデン	2.6	2.4	2.6	6.7	0.8	10

(出典: World Metal Statistics Yearbook 2018)

## (2) 主要金属地金生産量

僅少

## (3) 主要金属地金消費量

僅少

## (4) 主要金属輸出货量

表 3-2. 金属鉱石・地金等輸出货量 (グロス)

鉱種	2015年 (千t)	2016年 (千t)	2017年 (千t)	対前年増減 比(%)	主な輸出相手国
銅鉱石	1,477.8	1,562.0	1,477.2	-7.3	中国
モリブデン鉱石	5.0	5.8	6.5	12.1	中国

(出典: World Metal Statistics May 2018)

## (5) 主要金属輸入量

表 3-3. 金属鉱石・地金等輸出货量

鉱種	2015年 (千t)	2016年 (千t)	2017年 (千t)	対前年増減 比(%)	主な輸入相手国
マンガン鉱石	0.02	0.004	-	-	中国

(出典: International Trade Centre)

## 4. 鉱山・製錬所状況

表 4-1. 鉱山・製錬所一覧

鉱山・製錬所名	権益所有企業(権益: %)	鉱種	生産量
Erdenet 鉱山	モンゴル政府(51%)、Mongol Copper 社が(49%)	銅(精鉱及びSxEw) モリブデン	N/A
Tumurtiin Ovoo 鉱山	Mongolian Metalipex(49) 中国有色金属建設股份有限公司(51)	亜鉛	N/A
Boroo 鉱山	Centerra Gold Inc(100)	金	59,224oz (2011年)

Oyu Tolgoi 鉱山	Turquoise Hill Resources Ltd(66)※Rio Tinto が 51%株式保有 モンゴル政府 (34)	銅、金、銀、モリブデン	年産能力銅 42 万 t、金 46 万 oz、銀 300 万 oz
---------------	---	-------------	-----------------------------------

(出典 : Erdenes Mongol 国営会社等各鉱山企業関連資料)



図 4-1. 主要鉱山位置図

### 5. 探鉱状況

新規鉱業権付与禁止および鉱物資源法に規定される鉱区維持料納付制度により、国土に占める鉱区の割合は 2005 年の 44.5%から 2014 年には 7.7%と減少。2015 年 1 月に探鉱権の発行を再開したため、2015 年に国土に占める鉱区の割合は 8.9%に上昇、2016 年は 8.6%となった。2017 年は 1,745 件の探鉱権 (国土の 5.82%の 9,141.13 千 ha) と 1,624 件の探掘権 (国土の 0.99%の 1,557.2 千 ha) が与えられた。2016 年の新規確定埋蔵量について、32.1t の金、11,870.8 千 t の鉄、77.6 千 t の亜鉛、83.35 千 t の鉛、1,636.3t の酸化タングステン、664.5t のウラン、0.7t の錫、3,868.5 百万 t の石炭、664.58 千 t の螢石、185.8 百万 t の石灰石などの埋蔵量が「国家鉱物資源埋蔵量登録簿」に登録された。

### 6. 我が国との関係

#### (1) 日本への輸出

特に無し。

#### (2) 日本企業による投資状況等

JFE 等の製鉄プラント建設を行っている株式会社メガテックは、2017 年、サインシャンド近郊において、耐火レンガ用珪石の採掘事業を開始した。

### 7. その他トピックス

特になし

(2018.09.20 北京事務所 関淳夫)